

(MA%)

	調査数	暴力を行った相手に抗議した	家族や身近な人、友人に相談した	公的な相談機関に相談した	警察等に訴えた	仕方がないと思ひ、何もしなかった	こわくて何もできなかった	なかつた	益を考えると何もしない	世間体や、今後の不利	その他	無回答
--	-----	---------------	-----------------	--------------	---------	------------------	--------------	------	-------------	------------	-----	-----

## 【性・共働きの有無・妻の雇用形態別】

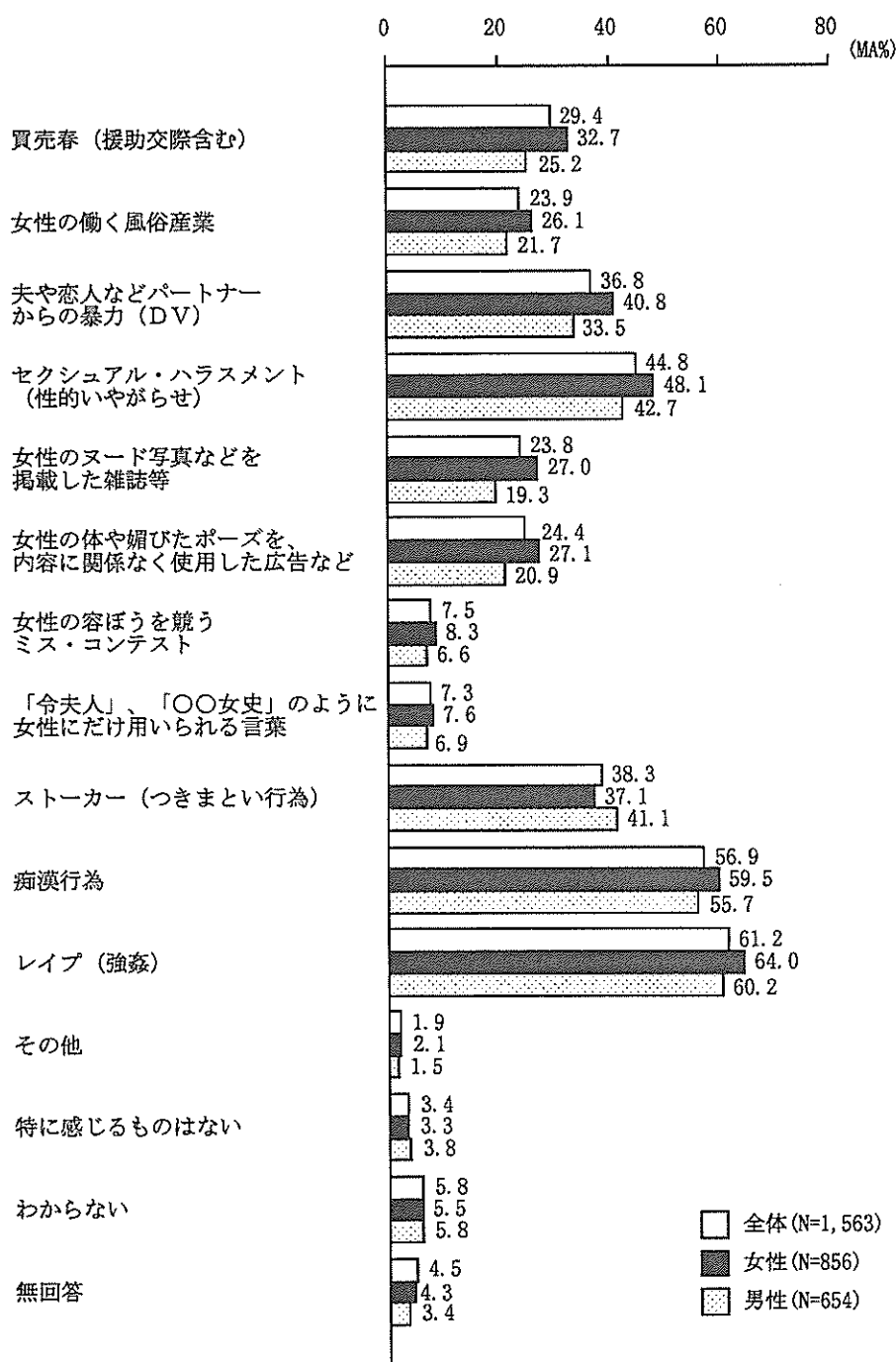
女性	共働きしている	30	70.0	33.3	-	3.3	13.3	6.7	10.0	13.3	3.3
	自営業・家族従業員フルタイム	5	-	20.0	-	-	20.0	20.0	40.0	20.0	-
	パートタイマー	12	100.0	41.7	-	-	8.3	8.3	8.3	-	-
	パートタイマー	13	69.2	30.8	-	7.7	15.4	-	-	23.1	7.7
	共働きしていない	26	57.7	38.5	-	3.8	23.1	11.5	26.9	3.8	-
	夫のみ就業	13	69.2	38.5	-	7.7	15.4	15.4	23.1	7.7	-
	妻のみ就業	5	20.0	20.0	-	-	60.0	-	20.0	-	-
	その他	8	62.5	50.0	-	-	12.5	12.5	37.5	-	-
男性	共働きしている	3	-	-	-	-	66.7	-	-	33.3	-
	自営業・家族従業員フルタイム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	パートタイマー	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	パートタイマー	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	共働きしていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫のみ就業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	妻のみ就業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 【性・子どもの有無別】

女性	既婚	77	57.1	31.2	-	3.9	23.4	13.0	22.1	9.1	1.3
	子ども有り	70	58.6	30.0	-	4.3	21.4	11.4	22.9	8.6	1.4
	子どもはいない	7	42.9	42.9	-	-	42.9	28.6	14.3	14.3	-
	未婚	11	72.7	36.4	9.1	-	9.1	-	-	9.1	-
男性	既婚	6	16.7	-	-	-	66.7	-	33.3	16.7	-
	子ども有り	4	-	-	-	-	75.0	-	50.0	25.0	-
	子どもはいない	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	未婚	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 3-6. 女性の人権が侵害されていると感じること

問 10 あなたが、女性の人権が侵害されていると感じるのは、どのようなことについてですか。(〇はいくつでも)



◇ 「レイプ (強姦)」「痴漢行為」が約6割と最も多い。

女性の人権が侵害されていると感じることとしては、「レイプ (強姦)」が 61.2%、「痴漢行為」が 56.9%と多く、次いで「セクシュアル・ハラスメント」44.8%、「恋人やパートナーからの暴力」36.8%などとなっている。「買売春」「風俗産業」「ヌード写真など」「女性の体などを使用した広告など」については、20~30%となっている。また、「ミスコンテスト」及び「令夫人、〇〇女史などの言葉」については、人権侵害ととらえるのは10%を切る。

### 【性別】

男女ともに「レイプ（強姦）」が最も多く、次いで「痴漢行為」。ほとんどすべての項目について女性が男性を上回っているが、その差が比較的大きいのは「女性のヌード写真などを掲載した雑誌等」（7.7ポイント）、「買売春（援助交際含む）」（7.5ポイント）、「夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）」（7.3ポイント）などである。

### 【性・年代別】

「買売春（援助交際含む）」「女性の働く風俗産業」「女性のヌード写真などを掲載した雑誌等」の3項目は、20歳代の男性以外は、男女ともほぼ年齢が上がるにしたがって回答割合が高くなっている。一方、「夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）」「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」「ストーカー（つきまとい行為）」「痴漢行為」「レイプ（強姦）」の5項目は、一部男性や20歳代を除き、若い年代の回答割合の方が高く、年代による問題認識の違いがうかがえる。

### 【性・未既婚別】

「レイプ（強姦）」「痴漢行為」「セクシュアル・ハラスメント」「夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）」などは、男女とも未婚者の回答割合が既婚者を上回っている。「買売春（援助交際含む）」「女性の働く風俗産業」「女性のヌード写真などを掲載した雑誌等」「女性の体などを使用した広告など」などについては、男女とも既婚者の回答割合の方が高くなっている。

### 【性・職業別】

女性の場合、フルタイマーが「レイプ（強姦）」「セクシュアル・ハラスメント」「夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）」などについて、他の職業よりも回答割合が高い。男性では、「レイプ（強姦）」「痴漢行為」「ストーカー（つきまとい行為）」「セクシュアル・ハラスメント」「夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）」などで、フルタイマーの回答割合が最も高くなっている。

### 【地域別】

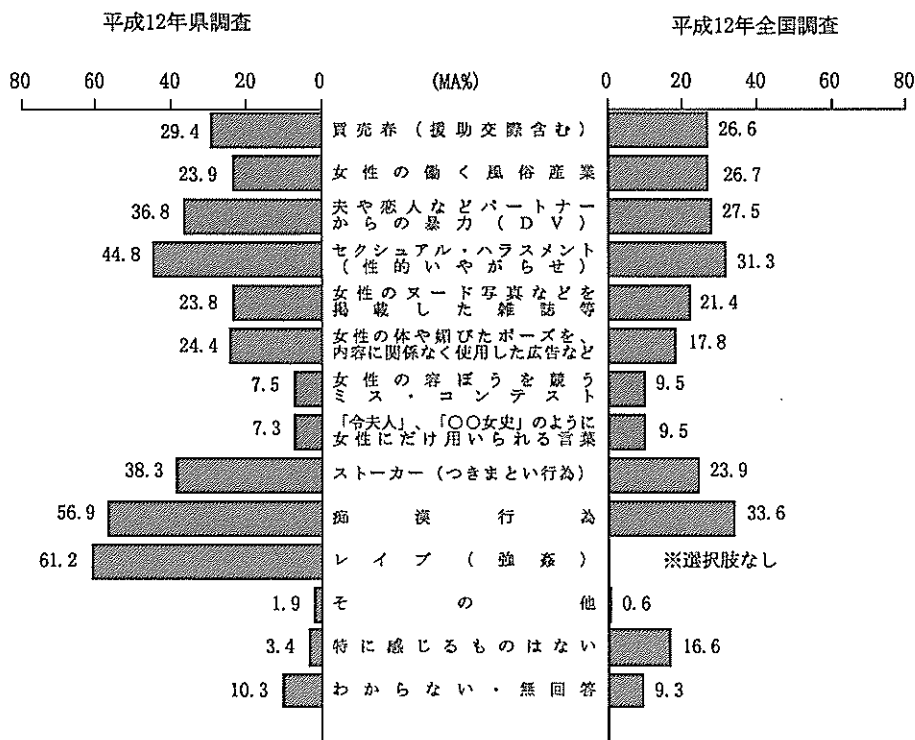
「レイプ（強姦）」「痴漢行為」「ストーカー（つきまとい行為）」などについては、県北、県央地域が他の2地域よりも回答割合が高くなっている。また、「セクシュアル・ハラスメント」「夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）」などについては、県北、県東地域が他の2地域よりも高くなっている。

### 【性・性別役割分担意識別】

男女とも、ほぼすべての項目について、「性別役割分担を否定する人」の回答割合が、「肯定する人」を上回っている。回答割合の差が最も大きいのは、「セクシュアル・ハラスメント」で男女とも約24ポイントの開きとなっている。女性では「レイプ（強姦）」及び「夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）」についても、「性別役割分担を否定する人」が「肯定する人」より20ポイント強上回っている。

【全国調査との比較】

〈全国調査〉の同様の質問と比較すると、今回調査での回答割合が〈全国調査〉を大幅に上回っているのは「痴漢行為」(差 23.3 ポイント)である。また、「夫や恋人などパートナーからの暴力(DV)」「セクシュアル・ハラスメント」「女性の体などを使用した広告など」「ストーカー(つきまとい行為)」についても、今回調査の方が回答割合が高くなっている。



(MA%)

	調査数	買売春（援助交際含む）	女性の働く風俗産業	V）夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）	セクシユアル・ハララスメント（性的いやがらせ）	女性のヌード写真などを掲載した雑誌等	女性の体や媚びたポーズを、内容に関係なく使用した広告など	女性の容ぼうを脱うミス・コンテスト	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	ストーカー（つきまとい行為）	痴漢行為	レイプ（強姦）	その他	特に感じるものはない	わからない	無回答
全体	1563	29.4	23.9	36.8	44.8	23.8	24.4	7.5	7.3	38.3	56.9	61.2	1.9	3.4	5.8	4.5	

## 【性別】

性別	調査数	買売春（援助交際含む）	女性の働く風俗産業	V）夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）	セクシユアル・ハララスメント（性的いやがらせ）	女性のヌード写真などを掲載した雑誌等	女性の体や媚びたポーズを、内容に関係なく使用した広告など	女性の容ぼうを脱うミス・コンテスト	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	ストーカー（つきまとい行為）	痴漢行為	レイプ（強姦）	その他	特に感じるものはない	わからない	無回答
女性	856	32.7	26.1	40.8	48.1	27.0	27.1	8.3	7.6	37.1	59.5	64.0	2.1	3.3	5.5	4.3	
男性	654	25.2	21.7	33.5	42.7	19.3	20.9	6.6	6.9	41.1	55.7	60.2	1.5	3.8	5.8	3.4	

## 【性・年代別】

性別	年代	調査数	(MA%)														
			買売春（援助交際含む）	女性の働く風俗産業	V）夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）	セクシユアル・ハララスメント（性的いやがらせ）	女性のヌード写真などを掲載した雑誌等	女性の体や媚びたポーズを、内容に関係なく使用した広告など	女性の容ぼうを脱うミス・コンテスト	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	ストーカー（つきまとい行為）	痴漢行為	レイプ（強姦）	その他	特に感じるものはない	わからない
女性	20歳代	115	20.9	16.5	55.7	70.4	16.5	18.3	5.2	7.0	43.5	73.9	77.4	3.5	1.7	3.5	1.7
	30歳代	148	29.1	19.6	54.1	57.4	17.6	22.3	4.7	6.1	41.9	70.9	80.4	4.7	2.7	2.7	1.4
	40歳代	157	32.5	26.8	49.0	59.9	20.4	27.4	10.8	8.3	40.8	65.0	70.1	2.5	3.8	3.2	1.3
	50歳代	197	38.6	26.9	37.6	42.1	32.5	29.9	10.2	8.1	31.0	53.3	58.9	1.0	3.6	4.6	5.1
	60歳以上	238	35.7	33.2	22.3	28.6	37.4	31.5	8.8	8.0	33.6	46.6	47.5	0.4	3.8	10.5	8.8
男性	20歳代	83	15.7	14.5	41.0	57.8	13.3	15.7	7.2	6.0	34.9	57.8	69.9	2.4	1.2	1.2	1.2
	30歳代	87	12.6	10.3	41.4	51.7	6.9	16.1	3.4	11.5	47.1	67.8	73.6	3.4	4.6	8.0	1.1
	40歳代	109	19.3	13.8	42.2	45.9	12.8	13.8	7.3	8.3	47.7	63.3	71.6	1.8	4.6	4.6	-
	50歳代	174	32.2	25.3	29.9	40.8	18.4	19.0	6.3	4.6	43.7	52.3	56.3	0.6	5.7	4.6	3.4
	60歳以上	200	32.0	31.0	25.0	32.0	31.5	31.0	7.5	6.5	35.0	48.0	47.5	1.0	2.5	8.5	7.0

## 【性・未婚別】

性別	婚姻状況	調査数	(MA%)														
			買売春（援助交際含む）	女性の働く風俗産業	V）夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）	セクシユアル・ハララスメント（性的いやがらせ）	女性のヌード写真などを掲載した雑誌等	女性の体や媚びたポーズを、内容に関係なく使用した広告など	女性の容ぼうを脱うミス・コンテスト	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	ストーカー（つきまとい行為）	痴漢行為	レイプ（強姦）	その他	特に感じるものはない	わからない
女性	既婚	703	35.6	27.6	40.3	45.9	28.3	28.6	8.3	8.0	37.3	59.3	63.9	1.6	3.0	4.8	4.1
	未婚	126	19.8	19.8	50.8	67.5	20.6	20.6	8.7	6.3	38.9	67.5	72.2	5.6	3.2	4.0	2.4
男性	既婚	525	27.0	23.6	31.8	40.2	21.0	22.3	6.7	7.4	42.3	55.4	59.2	1.1	4.2	6.9	3.0
	未婚	117	17.9	13.7	42.7	55.6	12.0	14.5	6.8	5.1	37.6	57.3	66.7	3.4	2.6	0.9	2.6

## 【性・職業別】

性別	職業	調査数	(MA%)														
			買売春（援助交際含む）	女性の働く風俗産業	V）夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）	セクシユアル・ハララスメント（性的いやがらせ）	女性のヌード写真などを掲載した雑誌等	女性の体や媚びたポーズを、内容に関係なく使用した広告など	女性の容ぼうを脱うミス・コンテスト	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	ストーカー（つきまとい行為）	痴漢行為	レイプ（強姦）	その他	特に感じるものはない	わからない
女性	自営業・家族従業	81	35.8	23.5	35.8	43.2	25.9	32.1	6.2	7.4	29.6	60.5	67.9	1.2	2.5	4.9	2.5
	フルタイム	149	28.9	22.1	53.7	60.4	22.8	21.5	9.4	10.1	36.9	63.8	75.2	2.0	2.0	2.7	3.4
	パートタイマー	156	37.8	25.6	48.7	56.4	25.0	26.3	9.0	5.1	47.4	67.9	67.3	3.2	2.6	0.6	3.2
	その他、無職	408	31.9	28.7	37.0	45.1	29.7	29.2	8.6	8.1	35.3	56.6	61.3	2.0	3.4	7.6	3.7
男性	自営業・家族従業	114	29.8	27.2	26.3	32.5	23.7	21.1	8.8	6.1	39.5	48.2	49.1	0.9	3.5	5.3	5.3
	フルタイム	323	24.1	17.3	39.6	48.9	14.2	17.3	5.6	6.2	46.7	61.0	69.0	1.2	4.3	4.3	0.3
	パートタイマー、その他、無職	172	27.3	27.3	28.5	38.4	26.7	28.5	7.0	8.1	32.0	51.7	53.5	1.7	3.5	7.6	5.8

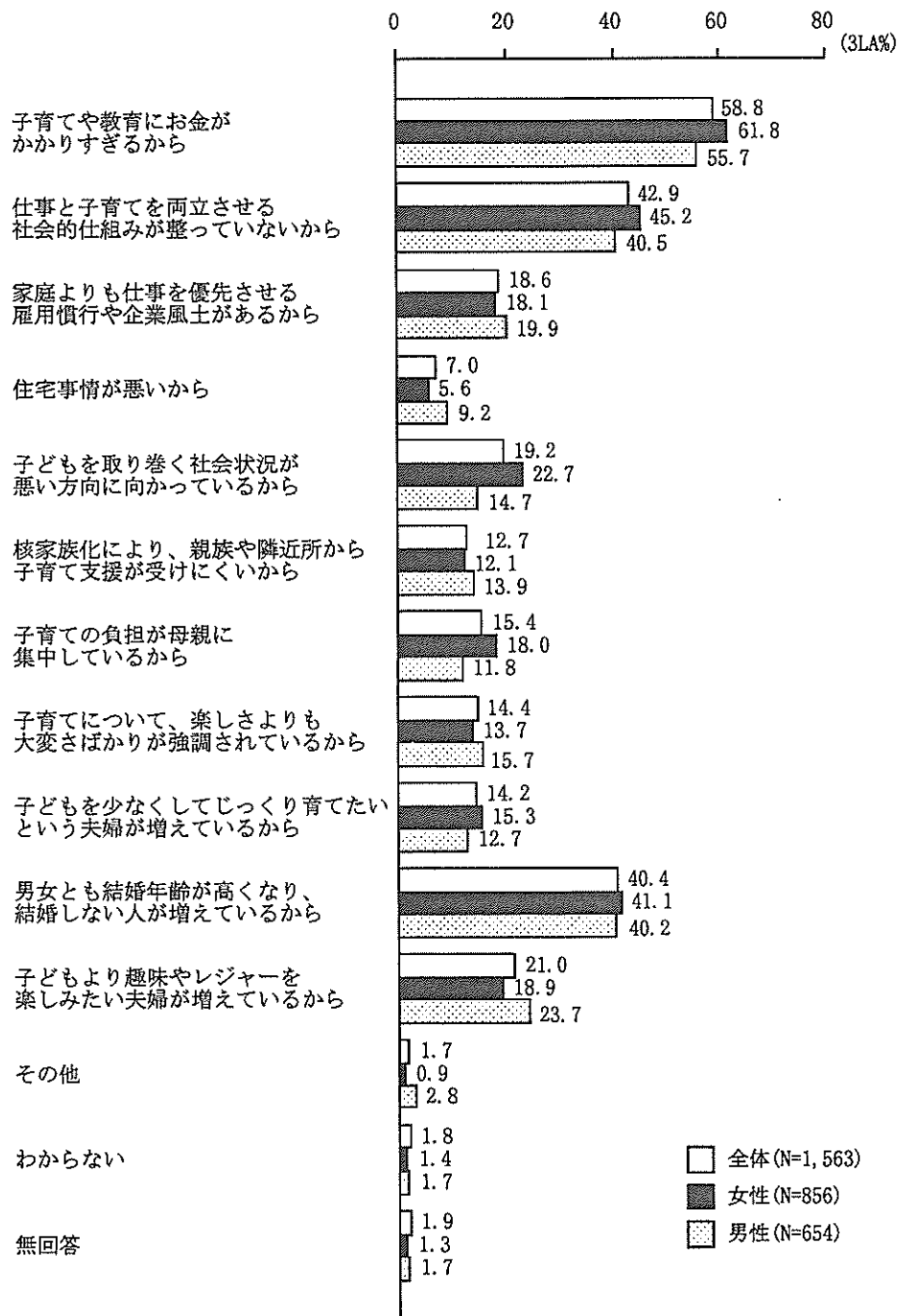
## 【性・性別役割分担意識別】

性別	意識	調査数	(MA%)														
			買売春（援助交際含む）	女性の働く風俗産業	V）夫や恋人などパートナーからの暴力（DV）	セクシユアル・ハララスメント（性的いやがらせ）	女性のヌード写真などを掲載した雑誌等	女性の体や媚びたポーズを、内容に関係なく使用した広告など	女性の容ぼうを脱うミス・コンテスト	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	「令夫人」、一〇〇女史」のように女性にだけ用いられる言葉	ストーカー（つきまとい行為）	痴漢行為	レイプ（強姦）	その他	特に感じるものはない	わからない
女性	そう思う	152	32.9	24.3	29.6	34.2	31.6	29.6	7.9	3.9	32.2	52.0	51.3	2.0	7.2	7.9	3.3
	そう思わない	347	37.8	28.8	50.7	58.5	26.2	27.1	11.0	11.2	41.2	66.0	71.8	1.7	0.9	3.2	3.2
	どちらともいえない・わからない	344	27.3	23.8	36.0	44.5	25.3	25.9	5.8	5.5	35.2	56.4	62.5	2.6	4.1	7.0	5.5
男性	そう思う	191	24.1	24.6	26.7	29.8	19.9	19.9	7.9	4.2	36.1	48.2	50.3	1.6	5.8	7.3	5.8
	そう思わない	198	26.8	21.2	40.9	54.0	21.2	22.7	7.1	8.1	46.0	63.1	67.2	2.5	3.0	3.0	0.5
	どちらともいえない・わからない	256	25.0	19.5	33.6	44.1	16.8	19.1	5.1	7.0	41.4	55.9	62.5	0.8	3.1	7.0	2.7

## 4. 少子化・子育て等について

### 4-1. 出生率低下の理由

問 11 奈良県においても、出生率の低下により少子化が進んでいます。あなたは、出生率が低下しているのは、主にどのような理由からだと思いますか。(〇は3つまで)



◇ 「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が約6割。

出生率低下の理由については、経済的理由（「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」）が58.8%で最多。次いで、子育てに関する社会システム上の問題（「仕事と子育てを両立させる社会的仕組みが整っていないから」）、非婚化・晩婚化（「男女とも結婚年齢が高くなり、結婚しない人が増えているから」）がともに40%強となっており、そのほかの回答は20%かそれ以

下にとどまっている。

#### 【性別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」「仕事と子育てを両立させる社会的仕組みが整っていないから」「子育ての負担が母親に集中しているから」の3項目は、女性の回答割合が男性を上回っており、女性が男性よりも、子育てに関する社会システムの問題を重視していることがうかがえる。また、現在の社会に対する不安（「子どもを取り巻く社会状況が悪い方向に向かっているから」）を出生率低下の理由と考える人も、女性の方に多い。一方、「子どもより趣味やレジャーを楽しみたい夫婦が増えているから」は、男性が女性を約5ポイント上回っている。

#### 【性・年代別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」では、20～40歳代の女性が60%を超えている。「仕事と子育てを両立させる社会的仕組みが整っていないから」でも、30歳代を中心に、20～40歳代の女性の回答割合が高くなっている。また、「子どもを取り巻く社会状況が悪い方向に向かっているから」では、20～40歳代の女性及び30歳代の男性など子育ての最中にある年代の回答割合が高くなっている。

#### 【性・職業別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」では、女性のパートタイマーが71.2%できわめて高い回答割合となっており、次いで女性の自営業・家族従業、その他・無職、男性のフルタイマーが約60%となっている。「仕事と子育てを両立させる社会的仕組みが整っていないから」では、女性のフルタイマーが61.1%、また、「家庭よりも仕事を優先させる雇用慣行や企業風土があるから」でも女性のフルタイマーが他と比べて高くなっている。

#### 【地域別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、県南、県北、県央地域で約60%、県東地域では約50%となっている。「仕事と子育てを両立させる社会的仕組みが整っていないから」は、県北地域が46.2%と最も高く、次いで県央、県東地域が約40%となっている。また、「子どもを取り巻く社会状況が悪い方向に向かっているから」は、県北、県央地域が他の2地域よりも回答割合が高くなっている。





題を重視する傾向が強く、特に「仕事と子育てを両立させる社会的仕組みが整っていないから」では、「性別役割分担を肯定する人」との差が、男性で 13.0 ポイント、女性で 20.6 ポイントある。

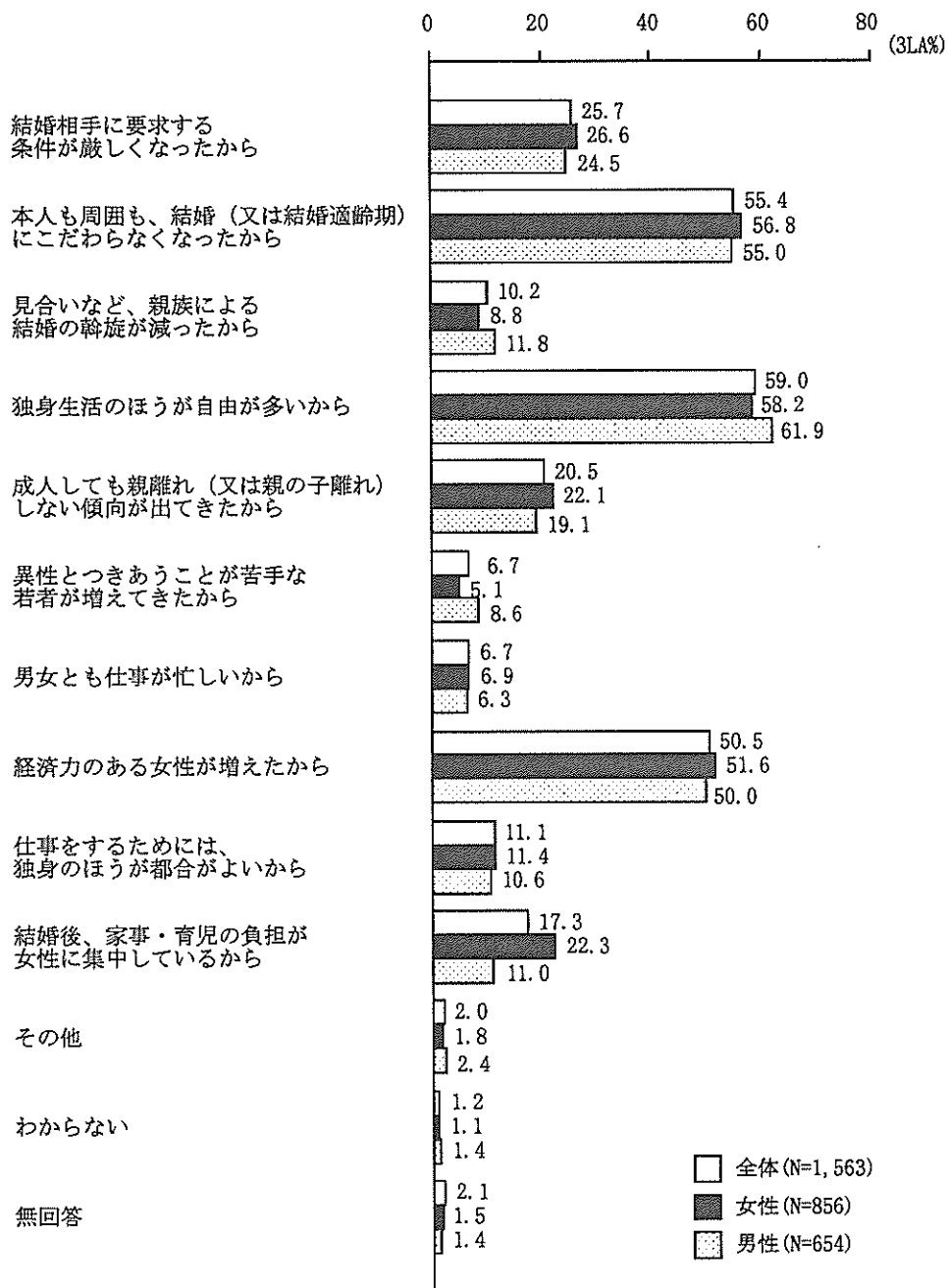
【晩婚化・非婚化の理由別】（4-2参照）

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、「結婚相手に要求する条件が厳しくなった」を「晩婚化・非婚化」の理由としている人の回答割合が 66.6%と高くなっている。「男女とも結婚年齢が高くなり、結婚しない人が増えているから」については、「経済力のある女性が増えたから」を「晩婚化・非婚化」の理由として挙げた人が 47.4%と高くなっている。また、「子どもより趣味やレジャーを楽しみたい夫婦が増えているから」については、「仕事をするためには、独身の方が都合がよい」を「晩婚化・非婚化」の理由として挙げた人の回答割合が他の理由を挙げた人より高くなっている。

		(3LA%)																			
調査数		子育てや教育にお金がかかりすぎるから	整つていない社会的仕組みが	仕事と子育てを両立させる	風土があるから	家庭よりも仕事を優先させる	住宅事情が悪いから	状況が悪い方向に向かっているから	子どもを取り巻く社会	援が受けにくいから	核家族化により、親族	子育ての負担が母親に	子育てが大変さばかり	子育てについて、夫婦	子どもを少なくして	男女とも結婚年齢が高	婦が増えているから	子どもより趣味やレ	その他	わからない	無回答
【性・性別役割分担意識別】																					
女性	そう思う	152	62.5	34.2	15.1	5.9	20.4	9.9	14.5	17.1	21.7	40.8	19.7	1.3	3.9	1.3					
	そう思わない	347	59.9	54.8	22.8	6.3	21.9	13.3	19.6	12.4	15.0	39.5	16.7	0.9	0.3	0.6					
	どちらともいえない・わからない	344	63.4	40.7	15.1	4.9	24.7	12.2	18.0	14.0	12.8	42.2	20.6	0.9	1.5	1.7					
男性	そう思う	191	57.1	34.0	19.9	14.1	16.2	11.0	9.9	18.8	15.7	37.7	24.6	3.7	-	3.1					
	そう思わない	198	55.1	47.0	24.2	6.1	17.2	15.7	15.7	10.6	37.9	17.7	2.5	2.0	0.5						
	どちらともいえない・わからない	256	55.5	40.2	16.0	8.2	12.1	14.1	10.5	13.7	12.5	44.1	27.7	2.0	2.7	1.2					
【晩婚化・非婚化の理由別】																					
結婚相手に要求する条件が厳しくなったから		401	66.6	43.6	21.2	7.7	19.5	11.5	14.5	17.2	16.7	37.4	20.0	0.7	-	1.2					
本人も周囲も、結婚にこだわらなくなったから		866	59.1	47.1	19.6	7.7	20.8	12.7	14.2	13.7	15.5	41.9	21.8	1.4	0.6	1.3					
見合いなど、親族による結婚の斡旋が減ったから		159	59.7	44.0	23.3	7.5	18.9	14.5	18.9	15.7	21.4	37.7	15.7	0.6	0.6	0.6					
独身生活のほうが多いから		922	61.2	42.2	19.0	7.7	20.0	12.6	14.2	16.4	14.0	41.2	23.4	1.4	1.2	0.8					
成人しても親離れ・子離れしない傾向が出てきたから		321	60.7	49.5	23.1	7.2	20.6	17.1	15.6	17.4	12.5	38.9	20.9	1.6	-	0.3					
異性とつきあうことが苦手な若者が増えてきたから		105	54.3	47.6	21.9	7.6	18.1	16.2	10.5	19.0	9.5	42.9	25.7	1.9	1.0	1.0					
男女とも仕事が忙しいから		104	52.9	42.3	31.7	6.7	22.1	16.3	16.3	11.5	13.5	44.2	15.4	2.9	1.9	1.0					
経済力のある女性が増えたから		789	59.4	41.3	16.7	6.0	18.3	12.8	14.8	14.7	15.6	47.4	22.9	1.4	1.1	1.0					
仕事をするためには、独身のほうが都合がよいから		174	52.3	46.0	16.7	5.2	20.1	11.5	19.5	13.2	17.2	45.4	27.0	1.7	0.6	1.1					
結婚後、家事・育児の負担が女性に集中しているから		270	62.2	50.4	18.5	6.3	22.2	12.6	30.7	9.6	11.5	38.1	20.0	0.7	0.4	1.1					
その他		32	46.9	46.9	12.5	9.4	6.3	12.5	21.9	18.8	3.1	37.5	18.8	15.6	-	3.1					

#### 4-2. 晩婚化・非婚化の理由

問 12 あなたは、以前に比べて、平均的な結婚年齢が上がったり、結婚しない人が増えているのは、主にどのような理由からだと思いますか。(〇は3つまで)



◇ 「結婚に対する意識の変化」と「独身の自由さ」が上位を占める。

非婚化・晩婚化の理由について尋ねたところ、「独身生活のほうが自由が多いから」「本人も周囲も、結婚(又は結婚適齢期)にこだわらなくなったから」「経済力のある女性が増えたから」の3項目が50~60%と高くなっている。

### 【性別】

「独身生活のほうが自由が多いから」では、女性 58.2%に対し男性 61.9%と、男性が女性を 3.7 ポイント上回っている。また「結婚後、家事・育児の負担が女性に集中しているから」は、男性 11.0%に対し女性 22.3%と、女性が男性の約 2 倍となっている。

### 【性・年代別】

1位の「独身生活のほうが自由が多いから」は、男性の 20～30 歳代及び女性の 20 歳代で約 70% となっている。これに対し、2位の「本人も周囲も、結婚（又は結婚適齢期）にこだわらなくなったから」は男女とも 40・50 歳代で約 60%となっている。また、男性では、「経済力のある女性が増えたから」が 20～30 歳代で約 40%、40 歳代以上で過半数となっている。

### 【性・未既婚別】

「独身生活のほうが自由が多いから」は、男女とも未婚者の回答割合が既婚者を上回っている。反対に、「経済力のある女性が増えたから」は、男女とも既婚者の方が回答割合が高くなっており、未婚・既婚による意識の違いがうかがえる。また、「本人も周囲も、結婚（又は結婚適齢期）にこだわらなくなったから」は、女性では未婚者の方が回答割合が高くなっているが、男性では既婚者の方が高くなっている。

### 【地域別】

「本人も周囲も、結婚（又は結婚適齢期）にこだわらなくなったから」では、県北、県央地域が他の 2 地域よりも回答割合が高くなっている。また、「経済力のある女性が増えたから」については、県南地域が 64.4%と、他の 3 地域を上回っている。

### 【性・性別役割分担意識別】

「本人も周囲も、結婚（又は結婚適齢期）にこだわらなくなったから」は、男女とも、「性別役割分担を否定する人」の回答割合が、「肯定する人」を上回っている。また、「独身生活のほうが自由が多いから」については、女性では「性別役割分担を否定する人」の方が、男性では「肯定する人」の方が高く、男女で回答傾向が異なっている。また、「性別役割分担を否定する」女性では、「成人しても親離れ（又は親の子離れ）しない傾向が出てきたから」「結婚後、家事・育児の負担が女性に集中しているから」について、他よりも回答割合が高い。

(3 LA%)

	調査数	件が厳しくなつたから	結婚相手に要求する条	わらなくなつたから	は結婚適齢期にこだ	本人も周囲も結婚(又	から結婚の斡旋が減つた	見合いなど、親族によ	る結婚の斡旋が減つた	が多いから	独身生活のほうが自由	傾向が出てきたから	は親の子離れ(しな	成人しても親離れ(又	たから	苦手な若者が増えてき	異性につきあうことが	から	男女とも仕事が忙しい	えたから	経済力のある女性が増	いから	独身のほうが都合がよ	仕事をやるためには、	いるから	負担が女性に集中して	結婚後家事・育児の	その他	わからない	無回答
全体	1563	25.7	55.4	10.2	59.0	20.5	6.7	6.7	50.5	11.1	17.3	2.0	1.2	2.1																

## 【性別】

性別	調査数	件が厳しくなつたから	結婚相手に要求する条	わらなくなつたから	は結婚適齢期にこだ	本人も周囲も結婚(又	から結婚の斡旋が減つた	見合いなど、親族によ	る結婚の斡旋が減つた	が多いから	独身生活のほうが自由	傾向が出てきたから	は親の子離れ(しな	成人しても親離れ(又	たから	苦手な若者が増えてき	異性につきあうことが	から	男女とも仕事が忙しい	えたから	経済力のある女性が増	いから	独身のほうが都合がよ	仕事をやるためには、	いるから	負担が女性に集中して	結婚後家事・育児の	その他	わからない	無回答
女性	856	26.6	56.8	8.8	58.2	22.1	5.1	6.9	51.6	11.4	22.3	1.8	1.1	1.5																
男性	654	24.5	55.0	11.8	61.9	19.1	8.6	6.3	50.0	10.6	11.0	2.4	1.4	1.4																

## 【性・年代別】

性別	年代	調査数	件が厳しくなつたから	結婚相手に要求する条	わらなくなつたから	は結婚適齢期にこだ	本人も周囲も結婚(又	から結婚の斡旋が減つた	見合いなど、親族によ	る結婚の斡旋が減つた	が多いから	独身生活のほうが自由	傾向が出てきたから	は親の子離れ(しな	成人しても親離れ(又	たから	苦手な若者が増えてき	異性につきあうことが	から	男女とも仕事が忙しい	えたから	経済力のある女性が増	いから	独身のほうが都合がよ	仕事をやるためには、	いるから	負担が女性に集中して	結婚後家事・育児の	その他	わからない	無回答
	30歳代	148	25.7	52.0	3.4	60.1	26.4	5.4	8.8	47.3	10.8	28.4	4.7	-	1.4																
	40歳代	157	26.1	59.9	1.9	59.9	21.7	3.2	7.0	58.0	14.0	21.7	0.6	1.3	1.9																
	50歳代	197	25.9	59.4	10.7	53.3	26.4	5.6	5.6	49.7	8.6	24.9	2.5	1.0	0.5																
	60歳以上	238	32.4	52.5	17.2	53.4	15.5	7.6	3.4	54.6	10.9	15.1	-	2.1	2.9																
男性	20歳代	83	15.7	53.0	8.4	68.7	26.5	10.8	15.7	38.6	8.4	7.2	3.6	-	-																
	30歳代	87	29.9	42.5	9.2	66.7	25.3	9.2	10.3	39.1	9.2	9.2	6.9	3.4	-																
	40歳代	109	22.9	60.6	11.9	55.0	15.6	12.8	5.5	52.3	9.2	9.2	2.8	-	1.8																
	50歳代	174	24.1	62.6	9.2	66.1	19.0	8.6	2.3	56.9	8.0	12.6	1.1	0.6	0.6																
	60歳以上	200	26.5	52.0	16.0	57.5	15.0	5.0	4.5	52.5	15.0	13.0	1.0	2.5	3.0																

## 【性・未既婚別】

性別	婚姻状態	調査数	件が厳しくなつたから	結婚相手に要求する条	わらなくなつたから	は結婚適齢期にこだ	本人も周囲も結婚(又	から結婚の斡旋が減つた	見合いなど、親族によ	る結婚の斡旋が減つた	が多いから	独身生活のほうが自由	傾向が出てきたから	は親の子離れ(しな	成人しても親離れ(又	たから	苦手な若者が増えてき	異性につきあうことが	から	男女とも仕事が忙しい	えたから	経済力のある女性が増	いから	独身のほうが都合がよ	仕事をやるためには、	いるから	負担が女性に集中して	結婚後家事・育児の	その他	わからない	無回答
	未婚	126	19.0	64.3	4.0	65.9	22.2	3.2	12.7	48.4	11.1	22.2	4.8	-	-																
男性	既婚	525	25.3	56.0	13.0	61.0	18.7	7.6	5.0	51.2	11.2	12.4	1.9	1.3	1.5																
	未婚	117	19.7	53.0	7.7	66.7	22.2	12.8	12.8	42.7	7.7	5.1	4.3	0.9	0.9																

## 【地域別】

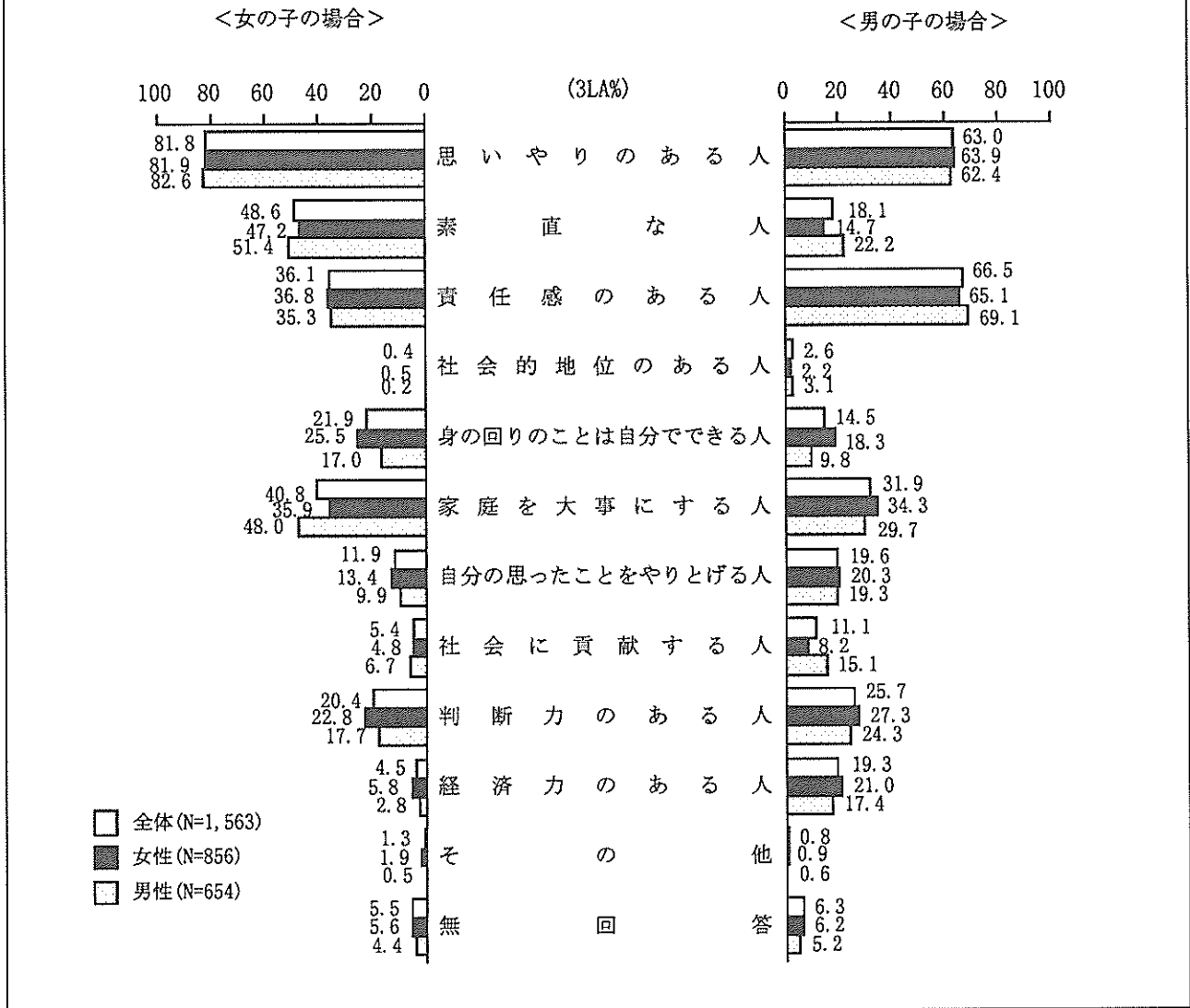
地域区分	調査数	件が厳しくなつたから	結婚相手に要求する条	わらなくなつたから	は結婚適齢期にこだ	本人も周囲も結婚(又	から結婚の斡旋が減つた	見合いなど、親族によ	る結婚の斡旋が減つた	が多いから	独身生活のほうが自由	傾向が出てきたから	は親の子離れ(しな	成人しても親離れ(又	たから	苦手な若者が増えてき	異性につきあうことが	から	男女とも仕事が忙しい	えたから	経済力のある女性が増	いから	独身のほうが都合がよ	仕事をやるためには、	いるから	負担が女性に集中して	結婚後家事・育児の	その他	わからない	無回答
県央地域	557	25.7	55.3	10.2	59.1	20.6	7.5	5.7	51.0	10.8	18.7	1.3	0.7	2.3																
県東地域	65	35.4	43.1	9.2	56.9	21.5	7.7	7.7	40.0	7.7	16.9	3.1	-	4.6																
県南地域	104	27.9	49.0	15.4	59.6	15.4	3.8	3.8	64.4	9.6	12.5	2.9	1.9	3.8																

## 【性・性別役割分担意識別】

性別	意識	調査数	件が厳しくなつたから	結婚相手に要求する条	わらなくなつたから	は結婚適齢期にこだ	本人も周囲も結婚(又	から結婚の斡旋が減つた	見合いなど、親族によ	る結婚の斡旋が減つた	が多いから	独身生活のほうが自由	傾向が出てきたから	は親の子離れ(しな	成人しても親離れ(又	たから	苦手な若者が増えてき	異性につきあうことが	から	男女とも仕事が忙しい	えたから	経済力のある女性が増	いから	独身のほうが都合がよ	仕事をやるためには、	いるから	負担が女性に集中して	結婚後家事・育児の	その他	わからない	無回答
	そう思わない	347	21.6	58.8	6.9	57.6	26.5	6.6	7.2	49.0	11.2	29.4	2.6	0.9	1.4																
	どちらともいえない・わからない	344	29.1	59.0	7.3	57.8	19.5	3.8	6.7	52.9	11.9	19.5	1.7	1.5	0.6																
男性	そう思う	191	30.9	47.6	13.1	57.6	19.9	8.9	6.8	52.4	10.5	12.0	3.1	1.0	1.6																
	そう思わない	198	20.7	59.6	11.6	62.1	19.7	10.1	5.1	51.5	11.6	12.1	1.5	0.5	0.5																
	どちらともいえない・わからない	256	23.0	57.0	10.9	64.8	18.0	7.0	7.0	47.7	10.2	9.4	2.7	2.3	1.6																

4-3. 子どもに期待する人物像

問 13 あなたは、自分の子どもがどのように育ってほしいと思いますか。①女の子の場合と②男の子の場合の両方についてお答えください。該当する子どものおられない方も、一般的な意見として両方にお答えください。(〇はそれぞれ3つまで)



◇ 女の子の場合は「思いやりのある人」「素直な人」「家庭を大事にする人」。男の子の場合は「責任感のある人」「思いやりのある人」。

子どもに期待する人物像としては、女の子の場合は「思いやりのある人」が 81.8%と最も多く、次いで「素直な人」48.6%、「家庭を大事にする人」40.8%、「責任感のある人」36.1%などとなっている。男の子の場合は「責任感のある人」が 66.5%、「思いやりのある人」が 63.0%、次いで「家庭を大事にする人」が 31.9%となっている。

女の子の方が男の子を大きく上回っているのは、「素直な人」(30.5 ポイント差)、「思いやりのある人」(18.8 ポイント差) など。反対に、男の子の方が高いのは「責任感のある人」(30.4 ポイント差)、「経済力のある人」(14.8 ポイント差) など。

### 【性別】

女の子に期待する人物像は、男女とも「思いやりのある人」が最も多く（女性 81.9%、男性 82.6%）、次いで「素直な人」となっている（女性 47.2%、男性 51.4%）。これに対し、男の子では、男女とも「責任感のある人」が最も多く、女性 65.1%に対し男性 69.1%と、男性の方が4ポイント高くなっている。2位は「思いやりのある人」が男女とも多い（女性 63.9%、男性 62.4%）。また、「家庭を大事にする人」では、対女の子と男の子で、男女の回答割合が逆転しており、回答者とは異なる性の子どもに「家庭を大事にする人」を期待している。

### 【性・年代別】

女の子に「思いやりのある人」を期待しているのは、女性では20歳代が88.7%と最も多く、次いで50歳代85.8%となっており、男性では30歳代が89.7%と最も多く、次いで50歳代86.8%となっている。また、「家庭を大事にする人」では、男女とも高年層で割合が高く、特に男性の50歳代では51.1%、60歳代では54.5%と過半数である。男の子に「思いやりのある人」を期待するのは、女性の20～30歳代が高く、70%を超えている。また、「責任感のある人」については、男女とも50歳代以上の高年層で割合が高くなっている。

### 【性・未既婚・子どもの有無別】

女の子に「思いやりのある人」を期待するのは、女性の既婚で子どものいない人と未婚者に多く、90%近くになっている。「素直な人」では、女性の既婚で子どものいない人が約60%と高い。また、「家庭を大事にする人」では、男女とも未婚者よりも既婚者の方が高く、既婚者のうちでも子どものいる人がより高い。男の子に「思いやりのある人」を期待するのは、女性の既婚で子どものいない人と未婚者が高く、70%を超えている。また、「責任感のある人」には、男性では、未婚者よりも既婚者が高く、既婚者のうちでも子どものいる人がより高い。

### 【望ましいと思う女性の生き方別】（5-1参照）

女の子に「素直な人」を期待するのは、「結婚退職-非就労型」「結婚退職-再就労型」がともに約60%と高くなっている。「家庭を大事にする人」では、「出産退職-非就労型」が55.3%と他よりも高くなっている。また、「女性の望ましい生き方」として「出産-就労継続型」をあげた人は、「思いやりのある人」に次いで「責任感のある人」が多い。男の子に「責任感のある人」を期待するのは、「結婚退職-非就労型」「結婚退職-再就労型」「出産退職-非就労型」「出産退職-再就労型」で約70%と高くなっている。

### 【前回調査との比較】

〈前回調査〉の類似の設問では、女の子に対しては「思いやりがあり、親身になって人の面倒をみる」が60.8%、「愛きょうがあり、誰にでも好かれる」が60.3%であった。男の子に対しては、「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」が54.6%と最も多く、次いで「自分の考えを人前ではっきり言う」が47.4%であった。今回調査では、女の子に対して「思いやり」を重視する傾向がさらに強まっているが、男の子に対しても、実行力や判断力よりも「思いやり」を重視する傾向が出ている。

<女の子の場合>

(3 LA%)

	調査数	思いやりのある人	素直な人	責任感のある人	社会的地位のある人	身の回りのことは自分でできる人	家庭を大事にする人	自分の思ったことをやりとげる人	社会に貢献する人	判断力のある人	経済力のある人	その他	無回答
全体	1563	81.8	48.6	36.1	0.4	21.9	40.8	11.9	5.4	20.4	4.5	1.3	5.5

【性別】

性別	女性	856	81.9	47.2	36.8	0.5	25.5	35.9	13.4	4.8	22.8	5.8	1.9	5.6
	男性	654	82.6	51.4	35.3	0.2	17.0	48.0	9.9	6.7	17.7	2.8	0.5	4.4

【性・年代別】

女性	20歳代	115	88.7	47.0	39.1	-	33.9	27.0	23.5	3.5	18.3	3.5	3.5	1.7
	30歳代	148	79.7	48.6	31.1	0.7	27.0	27.0	20.9	4.1	21.6	4.7	2.7	8.8
	40歳代	157	77.7	43.3	42.7	-	25.5	24.8	14.6	5.7	29.3	8.9	1.9	7.6
	50歳代	197	85.8	44.2	31.0	1.5	31.0	41.6	9.1	7.6	24.4	7.6	1.0	3.0
	60歳以上	238	79.4	51.7	39.9	-	16.0	47.9	6.7	2.9	20.2	4.2	1.3	6.3
男性	20歳代	83	79.5	53.0	28.9	-	26.5	42.2	12.0	4.8	19.3	3.6	2.4	1.2
	30歳代	87	89.7	59.8	34.5	-	18.4	47.1	9.2	5.7	18.4	2.3	1.1	1.1
	40歳代	109	77.1	43.1	39.4	-	20.2	35.8	20.2	11.0	17.4	2.8	-	6.4
	50歳代	174	86.8	50.0	37.4	-	13.8	51.1	10.9	8.6	16.1	2.3	-	4.6
	60歳以上	200	80.0	53.0	34.0	0.5	13.5	54.5	3.0	4.0	18.5	3.0	-	6.0

【性・未既婚・子どもの有無別】

女性	既婚	703	81.7	46.7	36.3	0.6	24.8	36.4	12.1	5.1	23.3	6.1	1.7	6.3
	子ども有り	638	81.3	45.6	35.7	0.6	24.6	37.0	12.7	5.3	23.4	6.6	1.7	6.6
	子どもはいない	60	86.7	58.3	41.7	-	26.7	31.7	6.7	3.3	25.0	1.7	1.7	-
	未婚	126	85.7	46.8	41.3	-	30.2	29.4	22.2	4.0	22.2	4.8	2.4	1.6
男性	既婚	525	83.8	52.2	35.4	0.2	15.6	51.0	9.3	7.2	17.5	2.5	-	4.4
	子ども有り	482	84.0	52.9	36.3	0.2	15.1	52.5	9.1	6.6	17.2	2.7	-	4.1
	子どもはいない	42	81.0	45.2	26.2	-	19.0	35.7	11.9	14.3	19.0	-	-	7.1
	未婚	117	78.6	49.6	35.0	-	22.2	38.5	12.8	4.3	17.9	3.4	2.6	3.4

【望ましいと思う女性の生き方別】

1	結婚退職-非就労型	151	86.1	58.9	28.5	-	17.2	50.3	8.6	5.3	19.2	2.0	2.0	4.0
2	結婚退職-再就労型	162	86.4	61.1	33.3	0.6	16.7	51.2	8.6	3.7	19.1	1.9	-	1.9
3	出産退職-非就労型	123	87.8	54.5	31.7	-	22.0	55.3	7.3	4.9	19.5	0.8	0.8	1.6
4	出産退職-再就労型	330	83.6	47.9	36.4	-	25.2	45.8	10.3	5.8	25.2	3.3	1.5	3.0
5	出産-就労継続型	415	82.9	42.9	43.6	0.5	24.1	28.0	19.5	8.4	21.9	7.7	1.7	3.9
6	非出産-就労継続型	13	92.3	46.2	61.5	-	38.5	30.8	-	7.7	7.7	15.4	-	-
7	非婚-就労継続型	2	50.0	-	100.0	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
8	非就労-結婚型	17	82.4	58.8	35.3	-	17.6	47.1	5.9	-	35.3	5.9	-	-
9	非就労-結婚-就労	16	87.5	56.3	37.5	-	18.8	37.5	6.3	-	25.0	6.3	6.3	-
10	非就労-非結婚型	3	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3
11	考えたことがない	32	71.9	40.6	28.1	-	25.0	25.0	28.1	-	25.0	15.6	3.1	6.3
12	その他	17	88.2	35.3	41.2	-	29.4	11.8	29.4	5.9	17.6	5.9	5.9	-

<男の子の場合>

(3 LA%)

	調査数	思いやりのある人	素直な人	責任感のある人	社会的地位のある人	身の回りのことは自分でできる人	家庭を大事にする人	りとげの人	自分の思ったことをやりにとげの人	社会に貢献する人	判断力のある人	経済力のある人	その他	無回答
全体	1563	63.0	18.1	66.5	2.6	14.5	31.9	19.6	11.1	25.7	19.3	0.8	6.3	

【性別】

性別	調査数	思いやりのある人	素直な人	責任感のある人	社会的地位のある人	身の回りのことは自分でできる人	家庭を大事にする人	りとげの人	自分の思ったことをやりにとげの人	社会に貢献する人	判断力のある人	経済力のある人	その他	無回答
女性	856	63.9	14.7	65.1	2.2	18.3	34.3	20.3	8.2	27.3	21.0	0.9	6.2	
男性	654	62.4	22.2	69.1	3.1	9.8	29.7	19.3	15.1	24.3	17.4	0.6	5.2	

【性・年代別】

性別	年代	調査数	割合 (%)											
			思いやりのある人	素直な人	責任感のある人	社会的地位のある人	身の回りのことは自分でできる人	家庭を大事にする人	りとげの人	自分の思ったことをやりにとげの人	社会に貢献する人	判断力のある人	経済力のある人	その他
女性	20歳代	115	73.9	26.1	60.0	0.9	25.2	40.0	26.1	2.6	17.4	13.0	2.6	2.6
	30歳代	148	70.9	19.6	56.8	1.4	22.3	31.1	23.0	5.4	31.1	20.3	1.4	4.7
	40歳代	157	67.5	11.5	61.1	1.3	22.9	28.7	21.0	9.6	25.5	19.7	0.6	9.6
	50歳代	197	57.9	7.6	66.0	2.5	17.8	33.0	21.8	13.2	36.5	25.4	0.5	4.1
	60歳以上	238	57.1	14.3	74.4	3.8	10.1	38.7	13.9	7.6	23.5	22.7	0.4	8.4
男性	20歳代	83	57.8	25.3	60.2	1.2	16.9	28.9	26.5	9.6	31.3	13.3	2.4	1.2
	30歳代	87	64.4	20.7	57.5	2.3	6.9	37.9	14.9	9.2	28.7	21.8	1.1	8.0
	40歳代	109	67.9	22.0	68.8	1.8	11.0	22.9	23.9	17.4	23.9	13.8	-	6.4
	50歳代	174	66.7	20.1	74.1	4.6	8.6	27.0	19.5	18.4	27.6	13.2	0.6	4.6
	60歳以上	200	56.5	23.5	73.5	3.5	8.5	32.0	15.5	16.0	17.0	23.0	-	5.5

【性・未婚・子どもの有無別】

性別	婚姻・子育て状況	調査数	割合 (%)											
			思いやりのある人	素直な人	責任感のある人	社会的地位のある人	身の回りのことは自分でできる人	家庭を大事にする人	りとげの人	自分の思ったことをやりにとげの人	社会に貢献する人	判断力のある人	経済力のある人	その他
女性	既婚	703	61.7	12.9	65.6	2.4	17.6	33.4	19.9	8.8	28.3	22.6	0.7	7.1
	子ども有り	638	60.3	12.2	65.7	2.4	18.2	32.9	20.4	9.1	28.8	23.0	0.8	7.4
	子どもはいない	60	75.0	18.3	65.0	1.7	13.3	41.7	15.0	6.7	23.3	20.0	-	3.3
	未婚	126	74.6	22.2	63.5	0.8	25.4	34.9	24.6	4.8	24.6	13.5	1.6	1.6
男性	既婚	525	63.2	22.5	70.5	3.2	9.0	30.3	18.5	16.2	23.8	17.7	0.2	5.7
	子ども有り	482	63.1	23.0	71.8	2.5	8.5	30.7	18.9	15.8	23.0	17.8	0.2	5.8
	子どもはいない	42	66.7	16.7	54.8	11.9	14.3	23.8	14.3	21.4	31.0	16.7	-	4.8
	未婚	117	59.8	21.4	65.0	1.7	13.7	27.4	24.8	11.1	26.5	13.7	2.6	2.6

【望ましいと思う女性の生き方別】

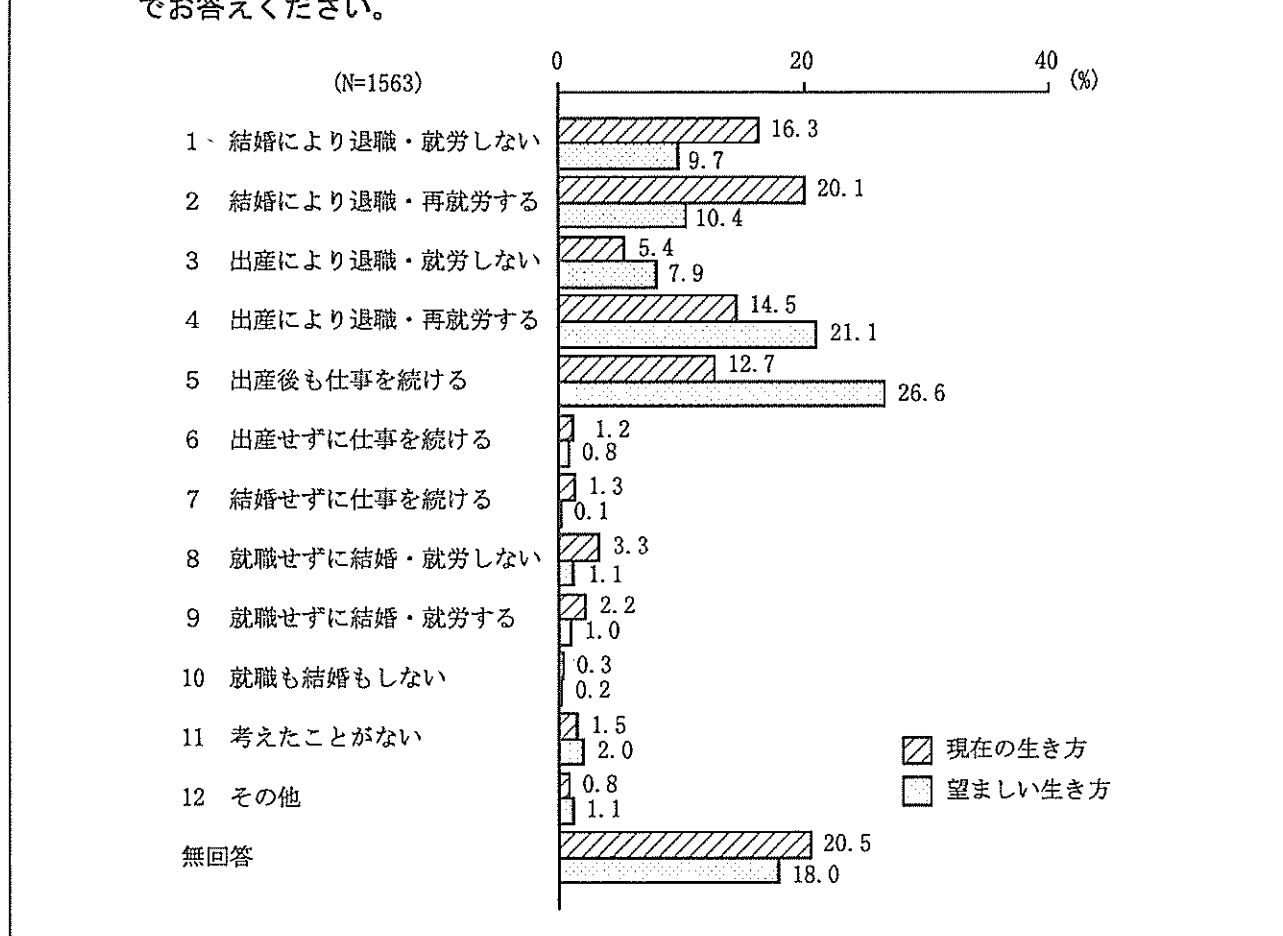
生き方	調査数	思いやりのある人	素直な人	責任感のある人	社会的地位のある人	身の回りのことは自分でできる人	家庭を大事にする人	りとげの人	自分の思ったことをやりにとげの人	社会に貢献する人	判断力のある人	経済力のある人	その他	無回答
1 結婚退職-非就労型	151	62.9	19.2	70.9	3.3	11.9	31.1	13.9	12.6	25.8	19.2	0.7	6.6	
2 結婚退職-再就労型	162	67.9	14.2	72.8	3.7	10.5	39.5	19.8	7.4	25.9	16.7	-	4.9	
3 出産退職-非就労型	123	61.8	22.0	67.5	1.6	4.1	39.8	17.1	17.1	26.8	28.5	0.8	2.4	
4 出産退職-再就労型	330	65.2	17.6	69.1	2.1	18.5	37.0	17.6	9.4	27.0	20.3	0.9	3.9	
5 出産-就労継続型	415	67.5	20.5	65.5	1.0	20.7	26.7	26.7	14.9	25.1	17.1	1.2	2.4	
6 非出産-就労継続型	13	53.8	-	53.8	7.7	23.1	30.8	23.1	-	30.8	30.8	-	15.4	
7 非婚-就労継続型	2	50.0	-	100.0	-	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	
8 非就労-結婚型	17	47.1	17.6	70.6	17.6	5.9	23.5	5.9	5.9	47.1	29.4	-	5.9	
9 非就労-結婚-就労	16	62.5	25.0	43.8	25.0	18.8	56.3	12.5	-	18.8	18.8	-	-	
10 非就労-非結婚型	3	33.3	33.3	100.0	-	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-	-	
11 考えたことがない	32	53.1	15.6	56.3	-	21.9	25.0	28.1	-	34.4	25.0	3.1	6.3	
12 その他	17	76.5	23.5	35.3	-	29.4	17.6	17.6	11.8	29.4	5.9	5.9	5.9	



## 5. 女性の生き方・就労について

### 5-1. 女性の生き方についての考え

問 14 女性の生き方についての下の図にしたがい、①あなたが女性の場合はあなた自身、あなたが男性の場合はあなたの配偶者（おられない方は除く）の現在及び今後見込まれると思われる生き方、②あなたが最も望ましいと思われる女性の生き方の両方についてお答えください。回答はそれぞれ、下の図の右端の番号（1～12）から1つ選んでお答えください。



◇ 望ましい生き方として多いのは、「結婚・出産後も就労を続ける」（約3割）と「出産による退職後に再就労する」（約2割）。

「女性の現在の生き方」について尋ねたところ、「結婚により退職・再就労する」が20.1%と最も多く、次いで「結婚により退職・就労しない」16.3%、「出産により退職・再就労する」14.5%となっており、結婚・出産による退職後に再就労している（今後そのように見込まれる）のは34.6%となっている。また、「結婚により退職・就労しない」と「出産により退職・就労しない」を合わせると、結婚・出産による退職後は再就労していない（今後そのように見込まれる）のは21.7%となっている。一方、「出産後も仕事を続ける」は12.7%となっている。

「最も望ましいと思う女性の生き方」について尋ねたところ、「出産後も仕事を続ける」が26.6%と最も多く、次いで「出産により退職・再就労する」21.1%、「結婚により退職・再就労する」10.4%となっている。実際には、結婚退職が多いものの、「望ましい生き方」としては、多くが「結婚・出産後も就労を続ける、または出産による退職後に再就労する」形を挙げている。

<現在の生き方（「今後見込まれる」を含む）>

【性別】

女性の回答をみると、「結婚により退職・再就労する」が 23.4%。男性の回答をみると、配偶者の現在の生き方は、「結婚により退職・再就労する」が 16.8%である。

【性・年代別】

女性の回答を年代別にみると、「結婚により退職・再就労する」と「出産により退職・再就労する」を合わせた、結婚・出産による退職後に再就労している（今後そのように見込まれる）割合は、30歳代が 50.0%と最も高く、次いで 40歳代 44.5%、20歳代 43.5%、50歳代 39.1%となっており、60歳以上では 22.6%にとどまっている。再就労のパターンの違いをみると、30～50歳代では「結婚により退職・再就労する」が最も多く、特に 30歳代では 29.7%、40歳代では 31.8%とそれぞれ約 3割を占めている。これに対し、20歳代では「結婚により退職・再就労する」は約 10ポイント少なく、「出産により退職・再就労する」が 23.5%と最も多くなっている。一方、「出産後も仕事を続ける」は 20歳代が 20.9%と最も高く、次いで 40歳代が 17.2%となっている。一方、男性の回答をみると、配偶者の現在の生き方として、「結婚により退職・再就労する」または「出産により退職・再就労する」と回答した割合は合わせて、40歳代が 41.3%と最も高く、次いで 50歳代 37.3%で、20～30歳代よりも高くなっている。

															(%)
調査数		1 結婚退職—非就労型	2 結婚退職—再就労型	3 出産退職—非就労型	4 出産退職—再就労型	5 出産—就労継続型	6 非出産—就労継続型	7 非婚—就労継続型	8 非就労—結婚型	9 非就労—結婚—就労型	10 非就労—非結婚型	11 考えたことがない	12 その他	無回答	
全体		1563	16.3	20.1	5.4	14.5	12.7	1.2	1.3	3.3	2.2	0.3	1.5	0.8	20.5
性別	女性	856	15.8	23.4	5.0	14.7	12.9	1.8	2.2	3.3	2.3	0.5	1.3	0.9	16.0
	男性	654	17.4	16.8	6.1	14.7	12.7	0.5	0.2	3.2	2.0	-	2.0	0.8	23.7

【性・年代別】

女性	20歳代	115	11.3	20.0	4.3	23.5	20.9	4.3	3.5	1.7	2.6	1.7	3.5	-	2.6
	30歳代	148	13.5	29.7	7.4	20.3	12.8	2.0	2.7	2.7	0.7	0.7	0.7	2.7	4.1
	40歳代	157	17.2	31.8	2.5	12.7	17.2	2.5	3.2	2.5	4.5	0.6	-	1.3	3.8
	50歳代	197	19.3	25.9	7.1	13.2	10.7	0.5	2.0	3.0	2.0	-	0.5	0.5	15.2
	60歳以上	238	15.5	13.4	3.8	9.2	8.0	0.8	0.8	5.0	2.1	-	2.1	0.4	38.7
男性	20歳代	83	2.4	8.4	2.4	19.3	14.5	-	-	-	1.2	-	2.4	-	49.4
	30歳代	87	20.7	16.1	6.9	17.2	13.8	1.1	-	-	1.1	-	1.1	-	21.8
	40歳代	109	13.8	22.0	2.8	19.3	17.4	0.9	0.9	1.8	0.9	-	2.8	-	17.4
	50歳代	174	21.8	26.4	6.9	10.9	12.1	-	-	2.3	4.0	-	1.1	-	14.4
	60歳以上	200	20.5	9.0	8.5	12.5	9.5	0.5	-	7.5	1.5	-	2.5	2.5	25.5

## <望ましい生き方>

### 【性別】

男女とも最も多い回答は「出産後も仕事を続ける」であるが、女性 30.5%に対し、男性は 22.0%と 8.5 ポイント下回っている。2位の「出産により退職・再就労する」についても、女性 23.1%に対し、男性は 19.7%となっている。一方、「結婚により退職・就労しない」と「出産により退職・就労しない」を合わせると、女性 14.5%に対し男性は 21.7%となっており、結婚・出産による退職後は再就労せず、主に家事・育児に従事する生き方を望ましいとする考え方は、男性の方に強い。

### 【性・年代別】

「出産後も仕事を続ける」を望ましいとするのは、女性の 30 歳代及び 40 歳代で、いずれも 40%を超えており、30 歳代では女性が男性を 22.4 ポイント、40 歳代では 12.1 ポイント上回っている。また、30～50 歳代では、「出産により退職・再就労する」は、男性より女性が 10 ポイント以上上回っている。

### 【性・職業別】

「出産後も仕事を続ける」は、女性のフルタイムとパートタイマーで 40%を超えている。また、「出産により退職・再就労する」及び「結婚により退職・再就労する」の女性は、フルタイムが他の職業と比べて低く、ここではフルタイムとパートタイマーとの考え方・状況の違いが出ている。男性では、フルタイムが他の職業と比べて「出産後も仕事を続ける」が多く、「結婚により退職・就労しない」「出産により退職・就労しない」については少なくなっている。

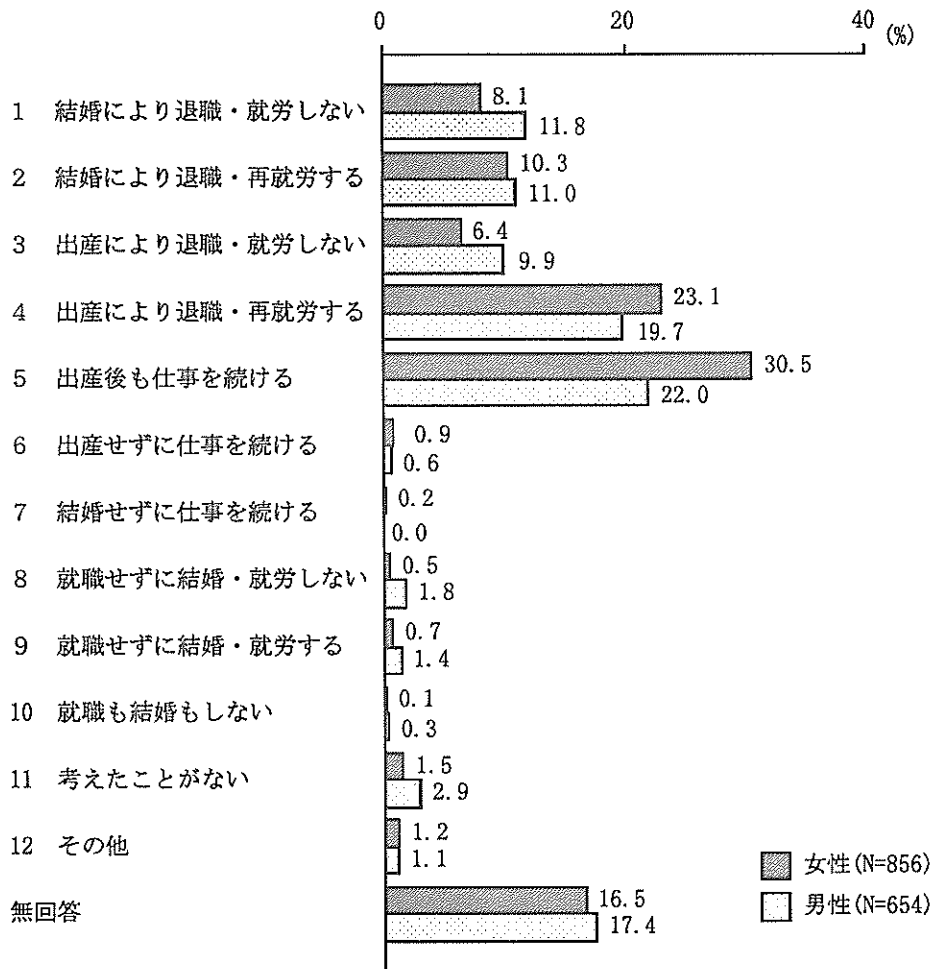
### 【地域別】

県東地域では「出産後も仕事を続ける」が 35.4%と他の地域と比べて高い。これに対し、「出産により退職・再就労する」及び「結婚により退職・再就労する」の割合は、県央地域 35.2%、県北地域 30.8%、県南地域 28.9%、県央地域 21.6%の順となっている。

### 【性・性別役割分担意識別】

男女とも、「性別役割分担を否定する人」は、「出産後も仕事を続ける」が最も多い。一方、「性別役割分担を肯定する人」では、女性は「出産により退職・再就労する」(23.7%)が最も多く、男性を 9 ポイント上回っている。男性は「結婚により退職・就労しない」が 22.0%で最も多く、男女による意識の違いがうかがえる。

【望ましい生き方（性別）】



【前回調査との比較】

〈前回調査〉では、「あなたがこれからの『女性の生き方』として一番望ましいと思うのは次のどれですか」（○は1つ）と8つの選択肢で尋ねている。「家庭を守り、家族の面倒もみるが、自由時間を積極的に生かし、趣味を持ち教養を高める」が46.5%と最も多く、次いで「生涯を通じて仕事と家庭、社会活動を並立させていく」が22.2%となっており、全体として、就労よりも家事や育児を重視していると指摘されていた。今回調査では、「出産後も仕事を続ける」が26.6%、「結婚により退職・再就労する」「出産により退職・再就労する」を合わせると再就労型は31.5%となり、〈前回調査〉よりも就労を重視する傾向が強い。